



ワンコインでバスを利用しやすい環境を

町長＝利用しやすい交通の在り方を検討

問

利用者が少ない赤字路線でも、町の助成金によってバス交通を確保しています。そこで、近距離ならばワンコイン100円、遠距離でも200円の低料金とし、一人でも多くの町民に利用してもらおう環境を整えるべきでは。

町長

利用者が少ないことは以前からの課題であり、利用者の意向調査や試験運行を実施してきました。ワンコインバスなどの提案も施策の一つと捉え、集落が点在する地理的な要因や医療、買い物といった生活拠点との関わりなど、町民がより利用しやすい効果的かつ効率的な公共交通の在り方を、引き続き検討します。

その他の質問

・高齢ドライバーの免許証の返納推進を

用語

※ICT教育
電子黒板やタブレット端末などの、情報通信技術を活用した授業

※ICT教育の積極的活用を

教育長＝適切な時期を見極め導入

問

ICT活用教育のモデル校として、南郷小学校と荒海中学校に電子黒板とタブレット端末が導入されました。授業の状況と、先生や児童生徒の感想は。

教育長

児童生徒へのアンケートの中でも、「楽しい」「分かりやすい」「ICT機器での授業を増やしてほしい」といった回答が多く、学習意欲の高まりと理解の深まりが感じられます。

問

他の10校へも、早期に導入すべきでは。

教育長

児童生徒が自らICT機器を操作することで、教育大綱の基本目標である「自ら学ぶ人の育成」が期待できます。各校への導入は、既存の教育用パソコンのリース残期間なども考慮し、適切な時期を見極めて導入します。



ICT機器を使用した授業のようす（平成28年11月4日 荒海中学校）